

バックアップの必要性



Q.1 バックアップってホントに必要?

もしも…
ファイルが開かない! ファイルがなくなった!
ウイルスに感染した! パソコンが壊れた…等々

起きてしまったら…

ある日突然データが無くなる。無くしたその時にその重要性が身にしみる…。データを消失してしまった時の影響は、個人的なフラストレーションからビジネスの停止までデータの重要性により異なりますが、ダメージは後々まで響いてきます。

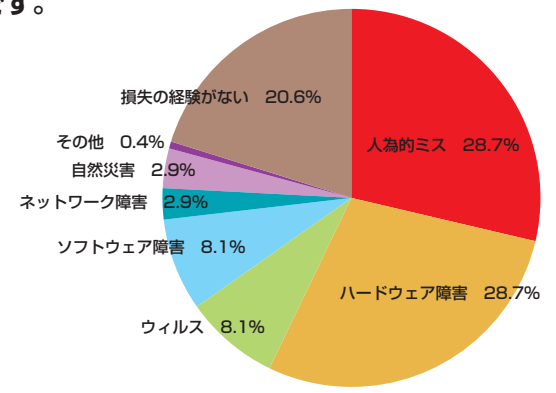
< データ消失によるリスク >

- 事業活動の停止による損失
- 重要データ(顧客情報、取引情報)の消失による信頼問題
- 企業イメージの低下、取引停止、損害賠償請求等による企業存続の危機

原因は…

■ データ損失の原因の No.1 は、実は「人為的なミス」です。

あなたにとっていかに大切なデータでも、コンピュータからすれば単なるファイルに過ぎません。また、あなた以外でも、ファイルにアクセス出来る人が「消去」と命令すれば、コンピュータはデータを消してしまいます。



■ それと並んで多いのが、「ハードウェア」障害です。

コンピュータも機械ですから、常に壊れる危険性をもっています。みなさんもビクビクしながらお使いではありませんか? ハードウェア障害の際、最悪の場合はシステムを再インストールする必要があります。この時、あなたが入力した重要なデータが残っている保証はありません。

■ さらに「ウィルス」「ソフトウェア障害」と続きます。

パソコンがウィルスに感染したり、使用中のソフトが誤作動を引き起こしたりして、ファイルが消失することもあります。データが復元可能になった場合、業務に多大な支障が出たり、納期遅れなど対外的な信用を失墜することにもつながりかねません。

つまり…

A. バックアップを取ることは重要です!!
データの損失には様々な原因があるので、最適な方法でバックアップをしましょう!

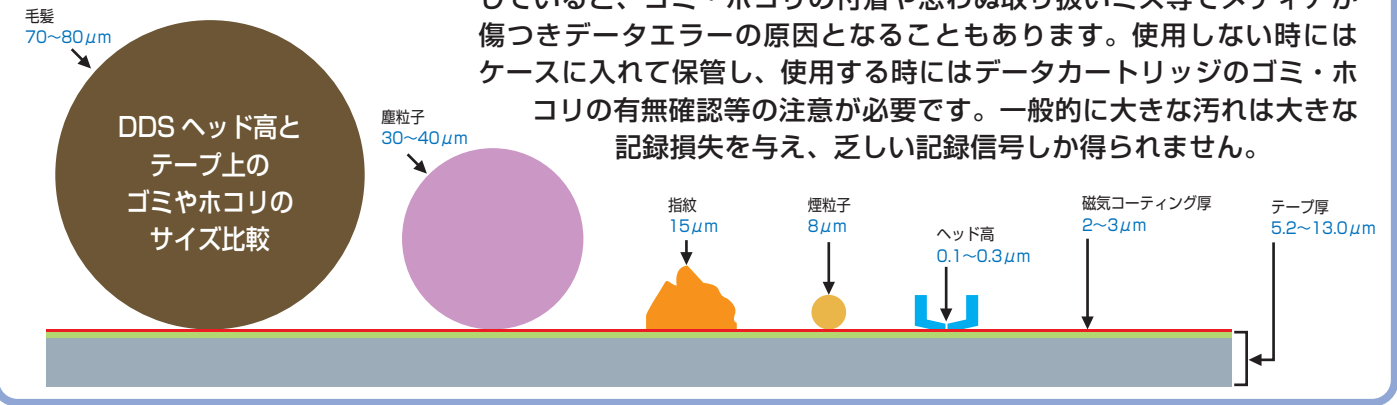
納得!



Q.2 デバイスのクリーニングしないとどうなるの?

ちなみに、装置の汚れがデータカートリッジに付着すると…

データカートリッジ等の磁気メディアにとって強い磁気は大敵です。強い磁気を発するものに近づけたりするとデータが消えてしまう事もあります。また、ホコリもメディアやドライブにとってトラブルの原因となります。テープを出しっぱなしにしたり、ドライブに入れたままにしていると、ゴミ・ホコリの付着や思わぬ取り扱いミス等でメディアが傷つきデータエラーの原因となることもあります。使用しない時にはケースに入れて保管し、使用する時にはデータカートリッジのゴミ・ホコリの有無確認等の注意が必要です。一般的に大きな汚れは大きな記録損失を与え、乏しい記録信号しか得られません。



だから…

■ 定期的なクリーニングをしましょう!

- 内蔵DAT(DAT72) ★テープ使用1本以下/1日…>週に1回
- 内蔵DATチェンジャー(DAT72) ★テープ使用2~3本以下/1日…>週に2回
- 内蔵AIT(AIT-2) ★テープ使用4本以下/1日…>毎日
- 内蔵LTO(ultrium3, ultrium2) ★月に1度(約30回のバックアップ実施時毎)の割合で行ってください。
- LTOライブラリ装置(ultrium3, ultrium2)

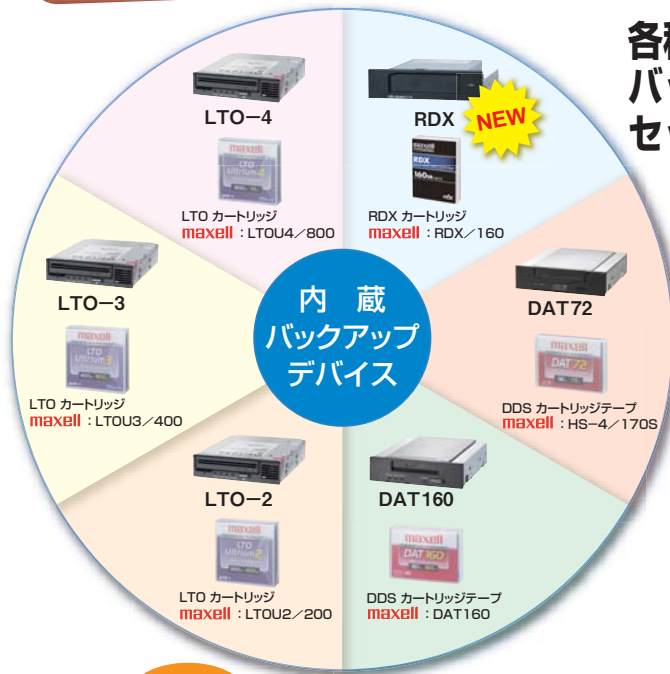
つまり…

A. 装置のトラブルが起きやすくなります。
バックアップ装置のトラブル発生原因のうち、バックアップ装置の定期的な清掃を実施していれば防げることができたケースが大きな割合を占めています。日々蓄積されるビジネスのデータの確実なバックアップのためにも、定期的な清掃を行うことをお勧めいたします。



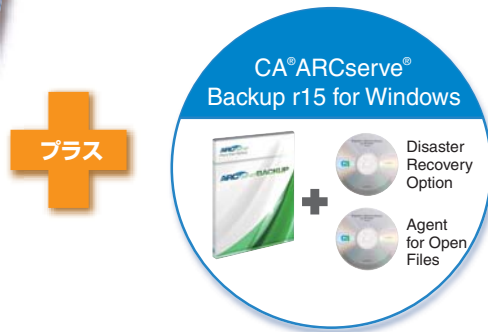
納得!

日立アドバンスサーバ HA8000series **実施中** バックアップデバイスパックキャンペーン



各種デバイスにテープメディアとバックアップソフトウェアをパックしたセット価格キャンペーンを実施中!

バックアップデバイスパックキャンペーンとは…?
各種バックアップデバイスにテープメディアとCA ARCserve r15(オプション含む)をバック化した便利でお得なセット商品です。



ご注意!

初年度サポートが付いているのは、デバイスパックキャンペーンのみ!! ぜひこの機会に!

単品販売のソフトウェアには、初年度サポート(無償)は付いていません。初年度サポートが付いているのは「デバイスパックキャンペーン商品」のみです。ご購入の際は、是非お得な「デバイスパックキャンペーン商品」をお買い求めください。

「初年度サポート」のサービス利用方法について **バックアップデバイス + ARCserve セットモデル専用** (初年度サポート付き)

■ サービス利用期間

サービス開始日から1年間

※サービス開始日は、お客様にお届けする「サポートサービス情報一覧」に記載されています。



2年目以降のサービス利用は、別途「ARCserve サポートサービス(有償)」のご契約が必要です。安心してお使いいただくため、引き続き契約をお願い致します。詳しくは、お客様にお届けする「ARCserve 製品ご購入の皆様へ」をご参照ください。

■ サービス利用概要 & ご利用手段

サービス項目	概要	ご利用手段
情報の提供	最新情報・技術情報などをお客様専用ホームページやE-mailで提供いたします。メール配信先はお客様専用ホームページからご登録・ご変更いただけます。 【内容】製品リリース情報、FAQ、障害回避・予防保守情報等	WWW
改良版の提供	ご契約のプログラムプロダクトの改良版を提供いたします。 (※なお、ここでいう「改良版」とは、パッチ対策版を意味するものであり、新しいバージョンやリビジョンの製品は対象となりません。新しいバージョンやリビジョンの製品につきましては、別途アップグレード製品の購入が必要となります)	WWW
問題解決の支援	ご契約のプログラムプロダクトに関する問題が発生した場合に、その解決を支援いたします。	WWW TEL FAX



WWW TEL FAX でのお問い合わせには、サービスIDが必要となります。

サービスIDは、お客様にお届けする「サポートサービス情報一覧」に記載されています。なお、受付時間は右記のとおりです。

① 一般のお問い合わせ: 月曜日から金曜日の午前9時から午後5時まで(注1)
② 障害に関するお問い合わせ: 月曜日から金曜日の午前8時から午後7時まで(注1)
注1: 「国民の祝日に関する法律」に定める休日、および日立が定める年末年始の休日(12月29日から翌年の1月3日)を除きます。営業日カレンダーはホームページでご覧いただけます。



OS 標準バックアップ機能との違い

Windows Server 2008環境においては、OS標準の「Windows Serverバックアップ」でテープドライブが未サポートとなりました。したがって、テープドライブ(DAT/LTOなど)をご使用される場合、別途専用のバックアップソフト(ARCserve Backupなど)が必要になります。参考までに、「Windows Serverバックアップ」と「ARCserve Backup」の機能差についてまとめましたので、ご活用ください。

「Windows Serverバックアップ」と「ARCserve Backup」の機能差

項目	OS 標準バックアップ機能 「Windows Serverバックアップ」	専用のバックアップソフト 「ARCserve Backup (Option含む)」
バックアップ先デバイス	ディスク	ディスク、テープ装置
リモートサーバのバックアップ	×	○
バックアップ方法	フル・増分	フル・増分・差分
スケジュールジョブ間隔	毎日のみ	任意(毎日・曜日・日付など)
複数のスケジュール処理実行	×	○
メディアの外部保管	×	○
バックアップデータの世代管理	×	○
バックアップデータの複製	×	○
バックアップデータの暗号化	×	○
旧バージョンとのデータ互換性	×	○
ウイルススキャン機能	×	○
データベース(SQL/Oracle) オンラインバックアップ	×	○
アプリケーション(Exchange) オンラインバックアップ	×	○
ログ機能	×	○
レポート機能	×	○
警告機能	×	E-Mail、SNMP、イベントログ、トラブルチケット、ブロードキャスト

違うんだあ〜



Merit.1 価格がお得!

さまざまな導入メリットのある Client Agent をバックにしたお得な製品です。10 ライセンスパックと 5 ライセンスパックの 2 種類をご用意しています。



Merit.2 サーバ追加に対応!

例えば 将来、バックアップ対象サーバの追加にバージョンを気にすることなく、スムーズな対応ができます!

